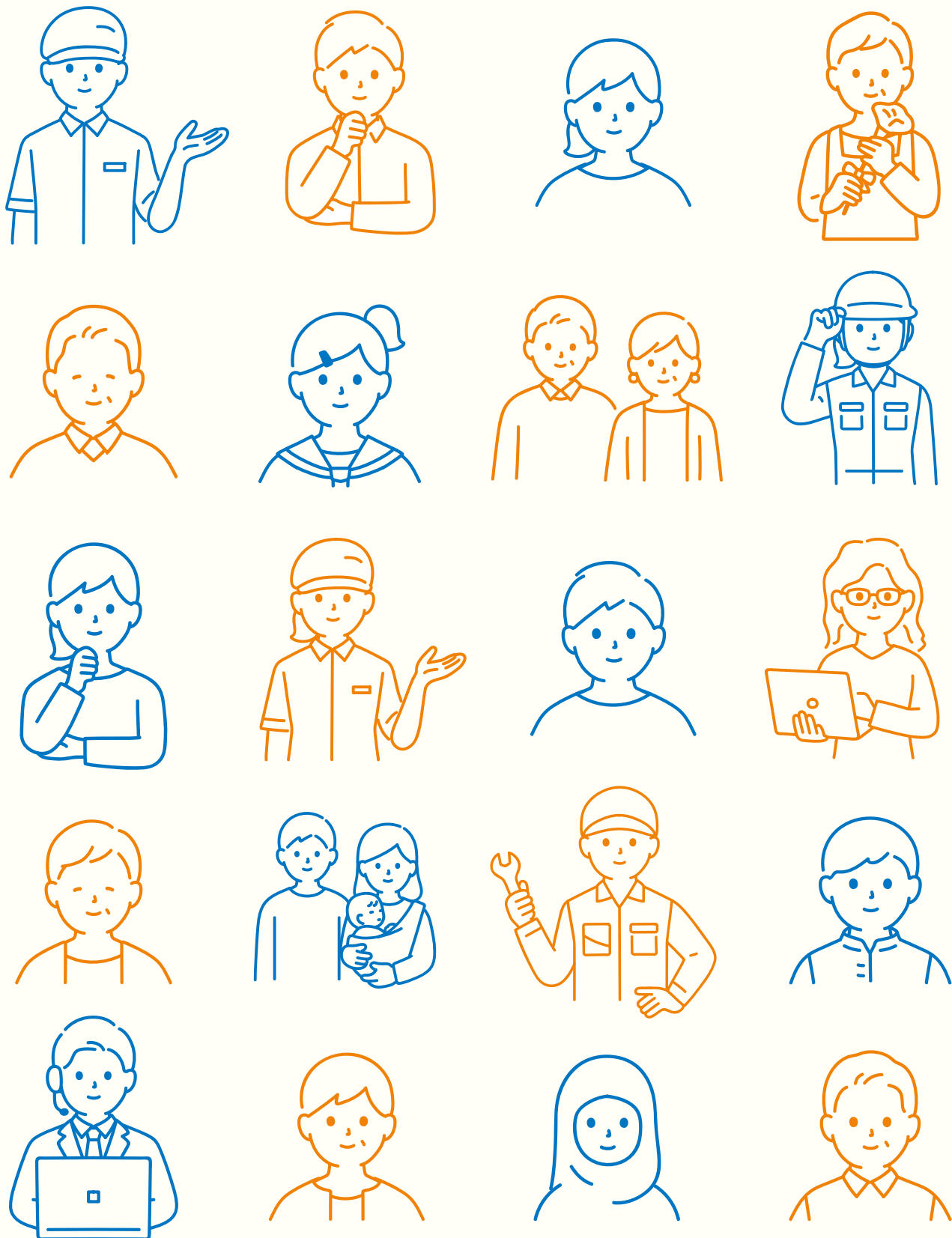


ANNUAL REPORT 2025



ごあいさつ 15周年の節目に、 新たな一歩を。

私たちは、2026年9月1日をもちまして、創立15周年の節目を迎えることとなりました。これもひとえに、皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

2012年9月に吹田市に設立されました、市民公益活動促進拠点となる吹田市民市民公益活動センターラコルタの運営も、皆さまのお力添えにより、3期15年にわたり運営していただくことができました。

しかしながら、この15年間には、コロナ禍という未曾有の事態もあり、私たちの日常や社会は大きく変化を受けたといえます。コミュニティのあり方は、「従来型」から「関心や価値観に基づくフラットなつながり」へと急速に移行しています。このことから、人とのつながりそのものの重要性が見直されただけでなく、共感できるテーマを通じた「自発的な市民自治」や「社会参画」が今後の主流となってくると考えられます。この社会の変化に柔軟に対応し、15年の節目を機に、これまでの足跡をふりかえると共に、新たなビジョンに向かって進んで参ります。

中間支援の本来の役割を再確認し、エリアや分野の越境による協働の促進を進め、社会的つながりがもたらす価値の再評価や、「市民自治の新たな姿」を定義づけるよう、次の15年に向けての歩みを進めてまいります。その一歩として、これからの社会に応じた持続可能な組織変更を実現したいと考えます。

私たちは、未来に向けて皆さまと共に歩みを進めてまいりたいと願っております。今後ともご指導、ご鞭撻ならびにご高配を賜りますようお願い申し上げます。



理事長 柳瀬 真佐子

contents

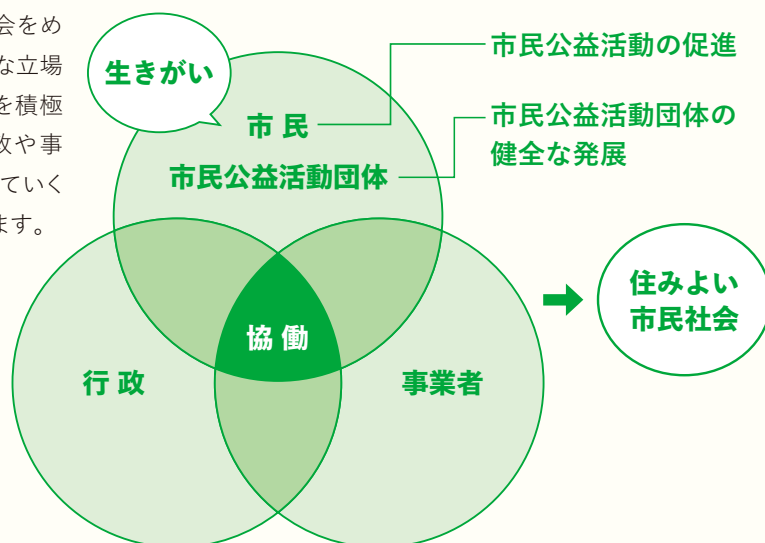
もくじ

ごあいさつ	01
ミッション／ビジョン	02
バリュー	03
2025年度 事業報告	04
公共施設の管理運営を通じた市民公益活動の支援	04
転入者は外国人?!～多様な住民とつくる共生のカタチ～	05
ICT×市民公益活動	05
子ども食堂×多文化共生のリサーチ	05
行政区を越えて地域共生社会の構築をめざす	06
外国人住民×まちづくり	07
活動計算書	08
貸借対照表	08
役員構成	08
2026年度 事業計画	09
沿革	10

ミッション

市民の思いに寄り添い 市民の力を信じる

私たちは、住みよい市民社会をめざし、中間支援として専門的な立場から、市民の社会貢献活動を積極的に応援するとともに、行政や事業者と共にまちづくりを進めていくための環境整備に取り組めます。



vision

ビジョン

[中長期の方針]

社会状況がめまぐるしく変化する中で、改めて人と人とのつながりが重視されています。世代や分野、エリアなどを越えて、誰もが生きがいや役割を持てる支え合いの関係を育んできた市民公益活動がめざしてきたものは、厚生労働省が提唱する地域共生社会※そのものであると言えます。

この活動が持続可能なものになることや、活動の価値を社会に発信していくためには、中間支援の存在が欠かせません。

私たちは、時代の変化に合わせて、中間支援に求められる役割や意義を問い直すとともに、それに伴う人材育成に取り組むべく、2024年度に3つの中長期の方針を策定しました。

01 中間支援の専門性を充実

複雑重層化した社会課題の解決に取り組む市民公益活動団体や市民を支援し、行政や多様な支援機関との連携を促進し、「中間支援の専門性」を明確にするとともに充実させます。

02 人材育成のための環境整備

広域で中間支援の人材育成に取り組む、様々な地域課題の解決に向けて多様なステークホルダーとの連携・協働を推進し、地域づくりに参画する人材や市民公益活動団体が育つための環境整備に努めます。

03 時代の変化に合わせて

「地域共生社会」の実現に向けた包括的支援体制となる「重層的支援体制整備事業」における中間支援の役割や必要性を、市民や地域のコミュニティ団体、市民公益活動団体の支援を通じて明らかにして目に見えるかたちにします。また、今後の外国人の増加・多国籍化を踏まえ、多様性・包摂性のある社会実現に向けて「多文化共生」の推進にも寄与します。

※地域共生社会とは？

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

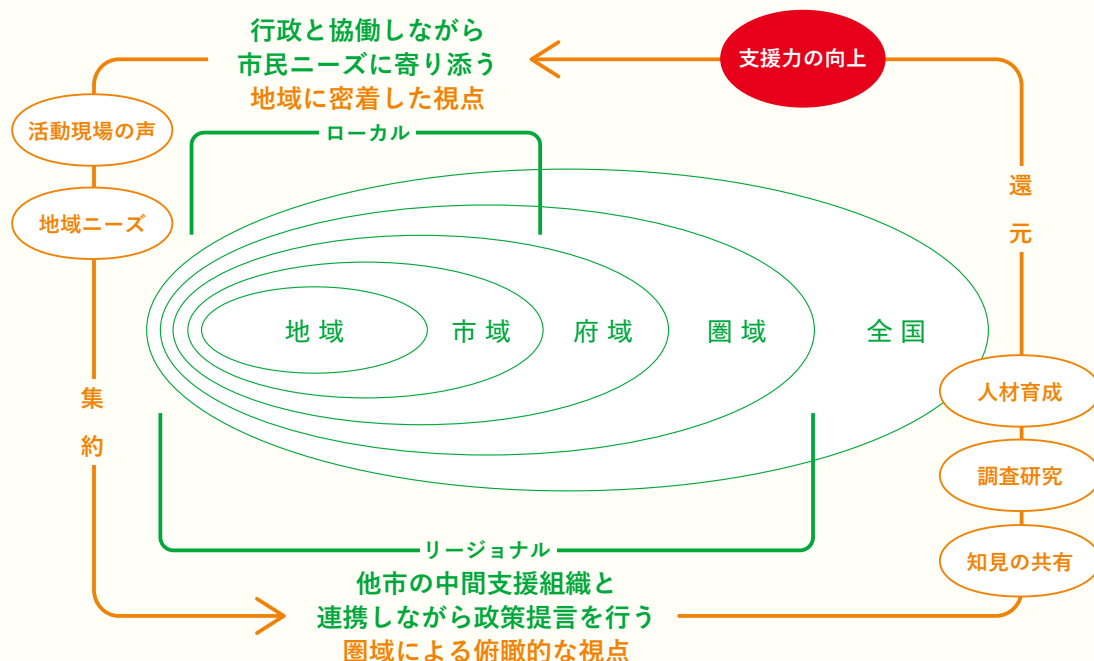
厚生労働省のポータルサイトより

バリュー

ローカル(地域) × リージョナル(圏域)

コロナ禍をきっかけに、北摂圏域を中心とした中間支援組織によるネットワーキングを発足。市民公益活動団体の伴走支援を通じた中間支援の人材育成や、市民公益活動の社会的価値の向上に取り組むプラットフォームを構築しています。

ローカル(地域)とリージョナル(圏域)、2つの視点をベースとしながら、市域で活動してきた中間支援組織がエリアを越えて連携することで、新たな知見が生まれ、地域へと還元する循環を生み出しています。



まちづくりは分野を超える

複雑化・多様化していく社会課題への対応が難しくなっています。地域での支え合いが重視される中、ビジョンに掲げる「地域共生社会」の実現がより必要性を増しているといえます。NPOは社会課題の解決を目的として存在しますが、世代や分野、エリアなどを越えて、誰もが生きがいや役割を持てる支え合いの関係を育み、社会全体のウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)を高める存在であることを、社会に発信していきます。



2025年度 事業報告

Civil Network Suita ANNUAL REPORT 2025

01 公共施設の管理運営を通じた市民公益活動の支援



ラコルタ | 吹田市立市民公益活動センターの管理運営(指定管理)

相談支援を通じた組織基盤の強化

2025年度は、年間336件の相談に対応し、2024年度(297件)を上回る結果となりました。特に、市民公益活動促進補助金の申請相談を強化した結果、申請件数は前年の2倍となる16件となりました。

補助金を単なる資金調達ではなく、活動の目的や価値を見つめ直す機会として伴走支援を行い、継続的な組織基盤の強化につながっています。

多様な市民が地域に関わるきっかけづくり

地域人材育成のための連続講座「eNカレッジすいた」では、「自分×地域・社会」という観点でテーマカフェの企画づくりを実施しました。修了後は、参加者自らがテーマカフェを実践するなど、学びを地域活動へとつなげる成果が生まれました。

小学生を対象とした「市議会見学会」では、定員を大きく上回る応募があり、子どもたちがまちづくりを身近に感じる機会となりました。また、当日参加された議員からは、子どもの声を聞く場の必要性を感じたという感想もいただきました。

地縁団体に対する取り組みでは、連合自治会長を対象としたネットワークテーブル(吹田市主催)において、これまでの調査結果を発表するとともに、多様化する地域活動の中で自治会が果たす役割について議論を深めました。



これまでに11期のべ206名の市民が参加したeNカレッジすいた

市民参加から生まれる新たなつながり

5回目となった「みんなのSUITA DAY」は、過去最多の来場者を記録しました。出展・出演団体をはじめ、eNカレ修了生や学生など多様な市民が企画段階から関わることで、新たなつながりや協働のきっかけが生まれ、市民参加型フェスタとして定着が進んでいます。



南千里駅前の公共空間を市民の力で盛り上げる

02 転入者は外国人?!～多様な住民とつくる共生のカタチ～

社会課題啓発事業

東京都三鷹市の民生・児童委員であり、NPO法人国際活動市民中心(CINGA)コーディネーターの新居みどりさんを講師に迎え、「転入者は外国人?!～多様な住民とつくる共生のカタチ～」を開催しました。地域住民をはじめ、行政職員や議員など多様な立場の方々が参加し、外国人市民の増加を見据えた地域づくりについて考える機会となりました。特に、民生・児童委員として地域で実践されている具体的な活動や、多様な住民との関わり方についてのお話は、誰もが安心して暮らせる地域づくりを考える上で多くの学びと気づきを得る機会となりました。また、「やさしい日本語」は外国人市民だけでなく、子どもや高齢者、障がいのある方など、多くの人にとって分かりやすい伝え方であることを学び、その重要性を共有しました。



31名の方が参加され、テーマに対する関心の高さがうかがえた

03 ICT×市民公益活動

Code for SUITA



市民主体のシビックテックコミュニティとして定例会を継続開催し、のべ47名が参加しました。2025年度は、メンバー自らが企画・運営を担う親子向けイベント「南千里ナゾトキクエスト」を開催。プログラミングやデジタル技術を活用した地域イベントを通じて、子どもたちや保護者がICTを身近に感じる機会を提供するとともに、市民が主体となって地域課題の解決に取り組むシビックテックの輪を広げました。



千里南公園に隠された謎解きにチャレンジ

04 子ども食堂×多文化共生のリサーチ

子ども食堂ネットワーク

吹田市内における外国にルーツのある家庭の子ども食堂への参加状況について、ヒアリング2回、相談対応1回を通じて実態調査を実施しました。また、池田市立市民活動交流センターで開催された子ども食堂交流会に参加し、運営上の工夫や課題についてヒア

リングを行いました。さらに、一般社団法人タウンスペースWAKWAKが実施する休眠預金活用事業「食支援プロジェクト」に協力し、吹田市内の子ども食堂へ周知・呼びかけを行い、4団体への食糧支援につなげることができました。

05 行政区を越えて地域共生社会の構築をめざす



北摂ともにプロジェクト(内閣府 令和7年度 孤独・孤立対策担い手育成支援事業)

生活圏域で広がる連携

北摂地域の中間支援組織が連携して進める広域事業として6年目を迎え、前年度に続き内閣府の交付金を受けて実施しました。2025年度は兵庫県猪名川町の中間支援組織が新たに加わり、計8組織で事業を展開しました。今年度は

- ①若者世代が多く参加する福祉分野に限定しないNPOの「つながりづくり」調査
- ②小規模NPOの伴走支援モデル構築
- ③分野や専門性を超えた支援機関連携
- ④摂津市における市民活動支援・中間支援組織立ち上げ支援
- ⑤孤独・孤立対策やNPOの役割発信に取り組みました。これらを通じて、NPOが活動しやすい環境づくりを進めました。

北摂ともにプロジェクト参加中間支援組織

大阪北摂	吹田市	NPO法人市民ネットすいた(提案者/事務局) 【吹田市立市民公益活動センター運営】
	茨木市	特定非営利活動法人いばらき市民活動推進ネット 【茨木市市民活動センター運営】
	箕面市	特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお 【箕面市立みのお市民活動センター運営】
	高槻市	高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会 【高槻市市民公益活動サポートセンター運営】
	池田市	NPO法人トアエル 【池田市立市民活動交流センター運営】
	豊中市	特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク 【豊中市立市民公益活動支援センター運営】
兵庫北摂	猪名川町	NPO法人いながわリンク 【町域の特性に応じた市民活動活性化に取り組む】
	三田市	特定非営利活動法人場とつながりの研究センター 【支援センター空白区アウトリーチ、地域福祉課題への直接的支援実績あり】

↑ 県域を超え、お互いの強みを活かした協力 ↓

伴走支援のモデル構築に向けた取り組み

これまで積み重ねてきた伴走支援の経験を土台に、今年度は初めて「伴走支援モデルの構築」に本格的に取り組みました。スーパーバイザーを配置し、支援チームへの研修を行いながら、伴走支援のプロセスを言語化し整理することを試みました。

その過程で、支援の質を高めるために必要な姿勢や倫理観、スキルの整理が進んだ一方、伴走チームの経験を組織内で確実にふりかえる仕組みづくりが今後の人材育成において重要であることも明らかになりました。これまでの実践を踏まえつつ、モデル構築に向けた一歩を踏み出した一年となりました。



ヒアリングの様子

分野をつなぐ実践と中間支援組織の新たな役割

中間支援組織の役割が変化する中で、分野横断の連携にも力を入れました。「公共施設のための『やさしい日本語』講座」の開催や、大学生・地域住民・美術家が協働した古着アート制作プロジェクトなど、福祉・アート・多文化共生の枠組みを超える取り組みに挑戦しました。

これらの実践を通じて、多様なニーズを持つ人々が気軽に集える公共施設の可能性や、孤独・孤立対策における中間支援組織の新たな役割も整理することができました。



「古着de巨大アート」準備作業の様子

06 外国人住民×まちづくり



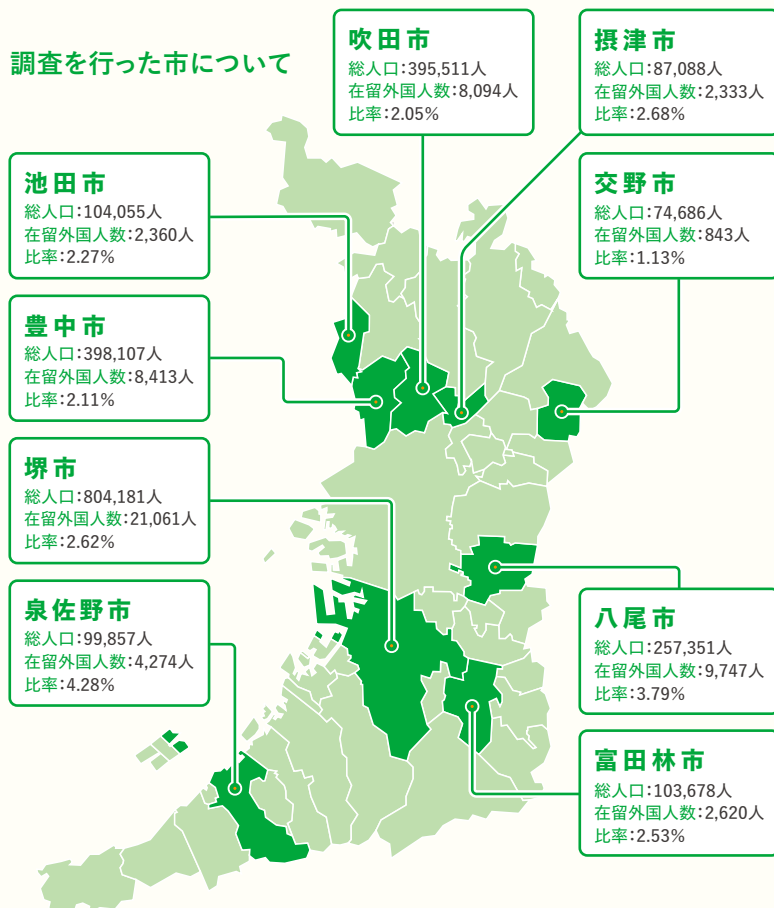
地域における外国人住民のまちづくり参画促進事業(令和7年度大阪府福祉基金 地域福祉振興助成金)

地域の実態と支援課題を多角的に整理

本事業では、多文化共生社会の実現に向けた機運醸成を図るとともに、地域コミュニティにおける外国人住民の実態調査を府内9市において行政(福祉、多文化の担当課)、社会福祉協議会、中間支援団体(市民公益活動センター)、国際交流協会、市民公益活動団体(NPO)、地域住民、外国人住民にヒアリングを行い、地域的な偏りのない調査を行いました。また、調査に先立ち、ヒアリングの手法や留意点を学ぶためのヒアリング研修を実施し、調査の質の向上に努めました。

総人口:総務省 2025年6月1日/外国人:法務局在留外国人統計2025年6月
※在留資格によって異なる外国人住民の生活実態や支援ニーズを把握し、課題を明確にすることを目的として、各市実態調査資料にて在留資格別データを掲載しています。

調査を行った市について



先行事例から学ぶ 外国人住民の参加と分野を越えた連携

「連携が生み出す地域福祉の新しい形～福祉×多文化共生×まちづくり～」をテーマにフォーラムを開催しました。対面開催に加え、要望の多かった後日視聴を実施し、多文化共生と地域福祉の連携について広く発信する機会となりました。



WEBサイトによる 事業成果の継続的な発信

また、WEBサイトを構築したことで、報告書の配布先にとどまらず、事業成果や各地域の実践事例を継続的に発信できる環境を整備しました。これにより、本事業で得られた知見をより多くの関係者へ届けることが可能となり、成果の普及と波及効果の拡大につながりました。

大阪府国際交流財団調査への協力

(公財)大阪府国際交流財団の「在住外国人を対象とした福祉支援活動の現状調査」として、当団体が、外国にルーツのある住民への支援状況や課題についてヒアリング調査の協力をいたしました。吹田市、池田市、八尾市の計15団体を対象に、地域ごとの支援の現状や課題、関係機関の連携状況を把握するとともに、外国にルーツのある住民が必要な支援につながるための課題を整理しました。本調査を通じて、地域の実情に応じた支援のあり方や、多機関が連携した支援体制づくりに向けた基礎資料を得ることができました。

活動計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

科目	区分	事業	管理	合計
I 経常収益				
1.受取会費		0	99,000	99,000
2.受取寄付金		0	0	0
3.受取助成金等		9,413,000	23,800	9,436,800
4.事業収益				
自主事業収益		571,573	10,930	582,503
受託事業収益		30,451,180		30,451,180
事業収益計		31,022,753	10,930	31,033,683
5.その他収益		0	50,317	50,317
経常収益計		40,435,753	184,047	40,619,800
II 経常費用				
(1)人件費		30,405,080	240,000	30,645,080
(2)その他経費		8,562,108	455,021	9,017,129
経常費用計		38,967,188	695,021	39,662,209
当期経常増減額		1,468,565	△ 510,974	957,591
III 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
IV 経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
当期正味財産増減額		1,468,565	△ 510,974	957,591
前期繰越正味財産額				18,475,858
次期繰越正味財産額				19,433,449

※当該年度は、その他の事業は実施していません。

(単位:円)

Balance Sheet

貸借対照表

2026年3月31日現在

科 目		金 額	
Ⅰ 資産の部	1.流動資産合計	23,636,089	23,636,089
	資産合計		
Ⅱ 負債の部	1.流動負債合計	4,202,640	4,202,640
	負債合計		
Ⅲ 正味財産の部	前期繰越正味財産	18,475,858	19,433,449
	当期正味財産増減額	957,591	
	正味財産合計		
負債及び正味財産合計			23,636,089

(単位:円)

Officer composition

役員構成

2026年7月1日現在

理事長	柳瀬 真佐子	特定非営利活動法人 関西こども文化協会 顧問、キャリアコンサルタント
副理事長	片岡 誠	公益財団法人 吹田市国際交流協会 理事長
常務理事	入江 陽子	生涯学習開発財団認定ワークショップデザイナー
理事	春貴 いさお	吹田市立市民公益活動センター センター長、防災士
理事	久 隆浩	近畿大学 名誉教授
理事	村上 典子	特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会 事務局長 多文化共生マネージャー
理事	矢野 真里加	吹田市立市民公益活動センター 職員
理事	茂上 さつき	南正雀まるっと。主宰者
監事	小山 真由美	認定NPO法人 Gift 理事長

2026年度事業計画

2026年4月1日～2027年3月31日

(1) 市民参画・協働推進事業

① 吹田市民市民公益活動センターの管理運営（指定管理）

第3期4年目にあたる今年度では、第4期に繋いでいく年とするため、これまで取り組んできたことの整理と見直し（アップデート）を図る。①人づくりの観点では、地域人材の育成として取り組んできたeNカレッジすいたにおいて、市民が新たな活動を生み出すきっかけをサポートする。②組織づくりの観点では、講座の開催だけでなく、団体の実情に合わせた支援が行えるよう、団体との関係づくりと状況の把握に注力する。また、③まちづくりの観点では、社会課題の解決に向けて市民だけでなく、行政や事業者など多様な主体が繋がることを意識した事業に取り組んでいく。

② 子ども食堂ネットワーク

「子ども食堂ML」にて活動支援に関する情報発信を行うとともに、他団体と共に、スクールソーシャルワーカーとの勉強会を実施する。また、吹田市内で外国ルーツの子どもたちの参加につながる「多文化子ども食堂」のニーズや、他市での事例リサーチを継続して行う。

③ Code for SUITA

ICTを切り口とした社会貢献の場として、シビックテックのコミュニティ「Code for SUITA」を運営する。特に市民公益活動や地域と関わる機会が少ない現役世代が集える場として定例会を開き、コミュニティに参加する現役世代と、地域社会との関わりを模索する。

④ 市民公益活動周知事業

吹田市南部に位置するファミリーマート吹田栄通り商店会店2階のイトインにおいて、吹田市内の市民公益活動促進に向けて、掲示板スペース、チラシ配架スペースの活用をはじめ、市民公益活動周知の場を多方に展開していく。

⑤ 社会課題啓発事業

まちづくりに関わる様々な機関や団体、関心を持つ市民と一緒に、地域でどのように「共に生きる」のかを考える機会とし、現状把握と共に課題解決に向けて支援者同士の分野を超えた連携の可能性を模索する。

(2) 調査研究・政策提言事業

⑥ 地域交流サロン等の活動支援を通じた地域情報の収集

現在開催されている「地域交流サロン」に向けて運営についてのヒアリング調査を行い、問題点、地域性を探っていく。

⑦ 地域における外国人住民のまちづくり参画促進事業（助成金）

「令和8年度大阪府福祉基金 地域福祉振興助成金」の民間団体提案型事業「地域における外国人住民のボランティア活動促進事業～外国人住民が主体者としてまちづくりに参画できる仕組みを共に創る～」を通して、多機関連携のもと、両者をつなぐ「コーディネーター養成」と「ボランティアプログラム構築」に取り組む。

(3) コンサルティング事業

⑧ 団体と専門家のマッチング事業

北摂地域で会計や法務、労務、ITなどの団体運営の実務者を掘り起こし、市民公益活動団体のニーズとマッチングする。

⑨ 摂津市の協働のまちづくりにおける中間支援活動支援事業

中間支援組織が立ちあがって間もない摂津市において、中間支援団体のスーパーバイズと共に、行政やテーマ型の市民公益活動団体の支援に向けて以下の事業を実施する。

①中立的な立場でのコーディネート、②市民公益活動団体の組織基盤の強化、③人材育成、④共に学ぶ、⑤相談、⑥協働の推進役

(4) 市民社会に資する人材育成事業

⑩ 北摂ともにプロジェクト（助成金）

「内閣府 令和8年度 孤独・孤立対策担い手育成支援事業」の実施を通じて、北摂地域の中間支援組織と連携しながら、①小規模NPOの伴走支援ができる人材育成、②小規模NPOの実態調査を通じた政策提言、③中間支援組織（施設）空白地域における中間支援設立運営支援、④他分野の支援組織とのネットワーク促進を進めることにより、NPOが持続発展的に活動できる環境を整備し、社会課題の解決に寄与する。

沿革

2010年10月	(仮称)市民公益活動拠点施設運営準備会に参加していたメンバーが中心となり 2010年10月から発起人会を開催
2011年9月	設立総会を開催
2011年12月	コミュニティ・デザイナーの山崎亮氏を講師に迎え、設立記念フォーラムを開催
2012年1月～2月	吹田市 市民公益活動人材育成講座「わたしにもつくれる!NPO」を受託
2012年	吹田市長市民公益活動センター指定管理者に選定(2012～2016年度)
2015年11月	ファミリーマート吹田栄通り商店会店」と提携し、イートインスペースを活用した 「栄えるカフェ IN 吹田」を運営開始
2016年	地域資源を活用した市民参加型の学びの場「キタオオサカ大学」をコーディネート(2016～2020年度)
2017年	吹田市長市民公益活動センター指定管理者に選定(2017～2021年度)
2017年9月	シビックテックコミュニティ「Code for SUITA」をスタート(～現在)
2017年	「吹田まつり実行委員会」から、「吹田まつり」に対する市民の意識調査を受託
2019年	「吹田市長制施行80周年プロジェクト会議」に参加(～2020年度)
2020年5月	「北摂NPO・SB支援のための緊急補助金プロジェクト」をスタート(～2021年度)
2021年	吹田市長市民公益活動センター指定管理者に選定(2022～2026年度)
2022年	(独法)福祉医療機構(WAM)の社会福祉振興助成事業(通常助成事業)の助成を受け、北摂ともにプロジェクト(北摂地域の活動支援の仕組みづくりと支援団体のネットワーク構築事業)をスタート(～現在)
2023年	内閣官房「令和5年度孤独・孤立対策活動基盤整備モデル調査」を受託し、孤独・孤立対策に取り組むNPO等の活動基盤強化に向けた「府県域をまたぐ生活圏域をベースとした中小NPOの活動基盤強化支援モデル構築事業」を実施
2024年	摂津市市民活動支援体制整備支援事業を受託 令和6年度 内閣府孤独・孤立対策担い手支援事業「生活圏域における小規模NPO基盤強化支援を通じた緩やかな「つながり」づくり担い手育成事業」を実施
2025年	令和7年度 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金の民間団体提案型事業「地域における外国人住民のボランティア活動促進事業～外国人住民が主体者としてまちづくりに参画できる仕組みを共に創る～」を実施 内閣府 令和7年度 孤独・孤立対策担い手育成支援事業「孤独・孤立対策の担い手となりうる多様な小規模NPOの活動基盤整備事業」を実施
2026年	令和8年度 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金の民間団体提案型事業「地域における外国人住民のボランティア活動促進事業～外国人住民が主体者としてまちづくりに参画できる仕組みを共に創る～」を実施 内閣府 令和8年度 孤独・孤立対策担い手育成支援事業「生活圏域における孤独・孤立対策の多様な担い手育成・つながり基盤強化事業」を実施



NPO法人 市民ネットすいた

〒565-0862大阪府吹田市津雲台1-2-1 千里ニュータウンプラザ6階
Tel:06-6875-7459 Mail:mail@cnsuita.org <https://cnsuita.org/>